
FAIRY TAIL ~とある妖精の転生物語~

ギルダーツ3世

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

FAIRY TAIL ～とある妖精の転生物語～

【Nコード】

N9063Y

【作者名】

ギルダーツ3世

【あらすじ】

フェアリーテイルの二次創作です（ ）

オリ主がフェアリーテイルの世界で暴れちゃいますWWW

オリ主最強とかが苦手な方は少し体に悪いかもしれません。

基本的に作者のやりたいことをやるのでご都合主義かもWWW

それでもいい人はよんでください。

感想、指摘もまっています。

プロローグ

突然ですが……

いま俺は真っ白な何もない部屋にいて、目の前にはお爺さんがお茶を飲んでいきます。

……このいかにもテンプレな感じはアレだよな？目の前でお茶を飲んでるのは神様で、君はワシのミスで死んじゃったから転生してもらうぞ？的な事を言われるんだよね？

うわ〜なんかテンション上がるな〜www
チート能力と付けてもらえたりしてねww

でも待てよ……俺ってまだ死んでないような気がするんだけど……
・もしかして夢か？でも夢にしてはハッキリとしすぎだよな？

ハッ！？まさか俺って死んだのにも気付かないマヌケ野郎！？

うわ〜……バカだな俺orz

死んだのにも気付かないって……

「オイそこの若者、少しいいかの？」

ん？そういえばこのお爺さんって誰なのかな？
ホントに神様だったりしてな

「あのおあなたはどちら様でしょうか？」

「あゝワシはの・・・神じゃ」

はい？・・・このお爺さん今、神って言ったよね？

「今、神って言いましたか？」

「ああ、言ったが？」

マジか？だったらいろいろ知ってるかもしれない！！

「つかぬことをお聞きしますが、もしかして俺って死にましたか？」

「いんや、死んでないぞい」

え！？死んでないの！？

じゃあ俺はマヌケ野郎じゃないのか！！

よかつたゝwww

ん？でもじゃあここはどこだ？

「ここはワシの家の自室じゃ」

「神様にも自分の家とか部屋ってあるんですか！？・・・じゃなくて

なんで俺がこんなところにいるんですか!？」

もうこの際、心を読まれたのはスルーだ!!

「それはちよつと言いつらいのじゃが・・・おぬしは最近犬を拾ったかの？」

「ああ、捨て犬がいたんでな」

「実はその犬の正体がワシの娘じゃったんじゃよ」

「はあっ!？」

なにそれ!？俺その犬と風呂とか一緒に入ったぞ!？

「その娘がおぬしを好いてしまったの・・・まあそうゆうことじゃ」

しかも意味わかんねえし!!!

「ちよつとまてやコラ!!なんでそんな理由で俺が死ななきゃなんねえんだよ!？おかしいだろ!!」

理由によつちやコイツが神でも殴ってやる!!

「まあ茶でも飲んで落ち着け」

「落ち着けるかってのバカ野郎!!はやく説明しろ!!」

「はあ、そもそもおぬしは死んでおらん」

「え!？・・・どうゆうこと?」

「つまりじゃな・・・可愛いワシの娘が大好きなおぬしのためにお

前さんの夢を叶えてあげてっていったから転生させてやるっかと思
つての」

何いってんのこの人!?

「俺、転生したいかと思ってねえし!」

「……まあ過ぎた話はもうやめよう」

「過ぎてねえし、よくもねえ!」

「うーん困ったの……じゃあチート能力を3つも持たせて転生さ
せてやるってのはどうじゃ?」

「いや、やっぱり俺はもとの生活に戻りたいので遠慮します。」

「それは無理じゃ」

「はあ?なんでだよ?」

「もうおぬしの存在消しちゃった」

「歯ア食いしばれエクソ神イイ!」

「まてまて!!本当にわるかった!!この通りじゃ!」

そういつて俺に土下座する神

なんか俺が悪者みたいじゃんかよ・

「はあ、じゃあもういいから顔をあげてくれよ神様」

「あっそう？じゃあチートは3つなんでもいいぞ」

「テメエ反省してねエだろ！！」

「それよりもさっさと選ぶのじゃ」

「チツ！・・・じゃあ能力は【メラメラの実】の能力と一方通行の【ベクトル操作】と【聖十大魔導の5倍の魔力量】で頼む」

「よし、では次はこの世界に行きたいのかの？」

「聞くまでもないだろ？もちろんフェアリーテイルの世界で頼む」

「よしでは行ってこい！！」

パカッ

下の方でそんな音がした・・・

その瞬間、下に落下していく俺

「こんのクソ神イイ！！！！覚えてやがれ！！！！！！」

「達者でなあ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9063y/>

FAIRY TAIL ~とある妖精の転生物語~

2011年11月27日03時10分発行